

---

# ドS王女とドMになってしまった英雄さん。の、旅。

白祈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

DS王女とDMになってしまった英雄さんの、旅。

### 【Nコード】

N5213Z

### 【作者名】

白祈

### 【あらすじ】

DS王女とDM？の英雄さんの続編！

今回は王女と英雄が隣国への旅に出る。

実は強かった王女と、出番が少ないと落ち込む英雄。

新たに《魔王国》というカオスな香り漂う場所が出てくる。

## ブローグ的な戦闘（前書き）

SMコンビが復活しました。

今回はよく分からない感じの旅に出ますw

サブタイトルの通り、これは序章とさせていただきます（・・・  
、）

## プロローグ的な戦闘

俺は英雄。名前も英雄だ。かつて、魔王から世界を救ったはずの俺は、世界一の美貌の王女に謁見しに行った。しかし、俺を待っていた現実というものは、とても残酷なもので、俺の中の可憐な王女のイメージは崩壊した。

やっぱり、王女の情報を集めてから謁見すれば良かったかな。まあ、悔やんでも仕方がない。ドS王女にひたすら罵られた後、俺は牢獄へ送られ、色々なことを色々な意味で反省した。牢獄へ連れていかれる間に、一つやけに綺麗で豪華な牢があつたが、まあそれを語るのはまた今度にしよう。

それより、今、この世界は再び大変なことになっていた。この王国の隣国で、大規模なテロが起きたという。しかもそれが、あの《魔王国》が仕掛けたらしいので、ヤバイ。

《魔王国》について、軽く説明しておこう。その国は、随分と好戦的な国で、周りは平和主義なのに対して《魔王国》は常に争いを求めている。かつこよく言えば血に餓えている、ダサく言うなら野生児。

また、それに対抗しようと張り切っているのが我らが王女様。《魔王国》に対して、些か過激すぎる程の攻撃を行ってきた歴史があり、それぞれの国の民が顔を合わせようものなら何の前触れもなく戦い始めるくらいだ。

「あら、この私よりも強い権力を求めるからあっちの方が悪いのよ」というのが王女の言い分なのだが、やはりやりすぎだと思う。

「さあ、歩きなさい！この能無しが」

王女は馬に乗り、猛スピードで加速。一方で俺はそれに普通に歩いてついてこいと言われている。走ろうとすると、罵声が飛んでくるのだが、それがまた嬉しくて思わず走……じゃねえ何言っただ俺！（爆）

そう、やりすぎなんだ。いくら同盟を結んだ国でテロが起きたからといって、王女自らが自分の国を放置して他国へ出向くなんて。しかも、最初は王女一人で行こうとしていた。家臣たちも止めなかった。王女なら平気だろうと。俺はさすがに危ないと思い、こうしてお供をかってでたのだが……。

「あはは、雑魚が！私の目の前に飛び出すから悪いのよ」

近づいてきた魔物を、どこからか呼び出した猛獣型の使い魔であつという間に蹴散らしていく。この道は、英雄の俺でもかなり苦労した場所だ。もしかして、英雄は王女でよかったんじゃないか？自分のプライドが踏みにじられていく……が、それがまたたまらな……じゃなくて！！

俺、結構な変人になってきました。父さん、母さん、ごめんなさい。

「あら？何か一際大きめの魔物<sup>エネミー</sup>が出てきたわね。いいわ、倒しましようか」

「こいつはさすがにヤバいつて！」

「そう？」

「ああ、お前みたいなのにはまだ無理だね」

「ああん？口を慎めこの愚物！」

どんなに危険な借金よりも大変な威圧感が……。

その間にも王女は背中にかかった筒から毒矢を取り出し、打つ。

それを合図に猛獣はその魔物<sup>エネミー</sup>に飛びかかった。猛獣は全部で3匹。

1匹は敵の首筋へ、残りは足元に噛み付く。たちまち魔物<sup>エネミー</sup>から緑色の液体が吹き出し、身の毛がよだつ雄たけびを上げる。が、王女は気にする訳でもなく、ただひたすらに嘲笑している。

それでも倒れない魔物<sup>エネミー</sup>に苛立ったのか、王女は馬から飛び降り、腰の鞘から剣を取り出し、重心を下にして一気に跳躍。魔物<sup>エネミー</sup>の頭に剣を叩き込む。

「ぐぎゃあああああああ！！！！」

かなり可哀想な声を上げ、魔物<sup>エネミー</sup>は倒れる。

王女は満足気に頷き、

「ま、当然よね」

と言い、馬に乗った。そしてまた疾走しだす。

「ちよつ、待つてくれてもいいじゃないか！」

馬がいなく。王女にバシバシ叩かれているのだ。俺も馬になり

t ( ( (

そんなこんなで、俺たちの旅は始まったのだった。

## ブローグ的な戦闘（後書き）

どうだったでしょうか？

勝手にSMコンビなんてつけて申し訳ありません（・・・）  
いや、この話は私が作ったんだからいいんだもん（殴  
という訳で、コメントや評価など、お待ちしております！  
では、白祈でした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5213z/>

---

ドS王女とドMになってしまった英雄さん。の、旅。

2011年12月17日18時54分発行